

2020年度 Society 5.0 研修会(第3回)

「オンライン授業の質向上—学生及び教員対象調査から見えてくるもの—」を開催しました!

国立大学法人 兵庫教育大学		HYOGO UNIVERSITY OF TEACHER EDUCATION	
13時10分 開会	前半	後半	13時50分
13時12分	学生対象アンケートの結果報告及び今後への示唆	オンライン授業事例紹介	
学部	教員養成・研修高度化センター 徳島祐彌助教	学部 教育制度論	
大学院	教員養成・研修高度化センター 阪上弘彬助教	教育実践高度化専攻 安藤福光准教授	
13時30分	教員対象調査の結果速報	修士 発達障害研究	
	須田康之 理事・副学長	特別支援教育専攻 宇野宏幸教授	
13時40分	質疑 5分	専門職 包括的児童生徒支援に関する事例研究	
(可能であれば) リラックスタイム		教育実践高度化専攻 山本真也助教	
		14時25分 質疑 10分	
		14時38分 アンケートのお願い 閉会	



開催日：2020年6月24日(水) 13時10分～14時50分

実施方法：Zoomによるオンライン

「オンライン授業の質向上—学生及び教員対象調査から見えてくるもの—」と題し、学生対象、教員対象オンライン授業調査結果の報告、各教員によるオンライン授業事例紹介が行われ、114名の教職員が参加しました。114名の教職員が参加しました。

学生対象アンケートの結果報告

5/27～31に実施した学生対象調査の結果報告がなされた。学部生調査では、①課題が多いこと、②課題へのフィードバックがない科目が見られること、③友達と一緒に学べず孤立感を感じている学生が一定いること、④動画配信等を取り入れた授業形態の評価が高いこと等が示された。大学院生調査ではとりわけ1年生で、自身の学修方法を確立している学生が5割、一方で学修方法に迷いを感じる学生が3割いることが報告された。

教員対象調査の結果報告

6/5～12に実施した教員調査の結果報告がなされた。オンライン授業の実施状況、授業形式、時間確保、工夫、出席管理の方法、質問等への対応、評価方法、学生の満足度予測について学部、修士課程、専門職学位課程別に結果および考察が示された。また自由記述では、授業実施に伴う通信環境やオンライン授業の可能性などの観点から出された意見が整理され、報告された。

オンライン授業事例の紹介

学生対象調査の結果を受けて選定された学部の「教育制度論」、修士課程の「発達障害研究」、専門職学位課程の「包括的児童生徒支援に関する事例研究」を担当する教員から報告がなされた。オンライン授業の事前・当日・事後の取り組み、オンライン授業を活用した反転学習の方法、Zoom等のウェブ会議システムの効果的な活用方法といった具体的な取り組みが紹介された。

